

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	明治大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メイジダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103536
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	ジョブ・インターンシップ
	学部・研究科等名	商学部
	担当教職員名・役職	名越洋子専任教授、中山千尋特任講師
	受講者数実績年度	令和4年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	5
	受入企業等数	5
	受入企業等名	NPO法人DSS(履修データセンター)、三浦市役所(市民協働課)、株式会社スノーピーク、太平洋セメント販売株式会社、ポラス株式会社
	産学協議会の整理上の類型	1.令和4年度実績につき分類未適用
	キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次～4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	企業においてキャリア形成支援活動を実施することにより、学びから就労へのイメージを構築するため、受入先の業態に応じた業務を社員とともにを行う。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	3年を対象に、夏期休業期間中の1～2週間の就業体験を組み合わせた科目「ジョブ・インターンシップ」として実施している。本科目では、学生の主体性に基づくより高い就業意識と職業観の育成を促す。単位認定においては、2単位を付与している。
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	日誌による担当教員の指導
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	第1回:イントロダクション:インターンシップの意義 第2回:社会が求めるコミュニケーション、自己分析 第3回:ビジネスマナー講座<1> 第4回:ビジネスマナー講座<2> 第5回:ビジネスにおける課題解決 第6回:プロフェッショナルの考え方 第7回:ビジネスの心構え、グローバル社会で活躍できる人材とは 第8回:業界研究<1> 第9回:業界研究<2> 第10回:プレゼンテーションの準備 第11回:発表資料作成 第12回:プレゼンテーションと考察 第13回:企業研究およびインターン先の確定
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	第14回:最終報告会
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	学生がインターンシップ中に作成する日誌を用いながら、事後学習の際に指導を行っている。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習でプレゼンテーションの準備講座を実施して、最終報告会でプレゼンテーションを実施しており、学生の意識や行動の変容を確認している。少人数クラスであるので、担当教員がきめ細かく学生のフォローを行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5日以上の実習期間を確保している。
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	各受入れ企業において、5日間以上のインターンシップを行っている。また、報告会に企業を招いてフィードバックをしてもらっている。

項目	確認事項	届出内容
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に御理解いただいたうえで、そのニーズにも応えられるようにするために、受入企業と協力してプログラムを設計し、評価シートも作成し測定に活用している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://oh-o2.meiji.ac.jp/Syllabus/syllabusView?syllabusYear=2023&kougicd=12L16001&langCode=ja
問い合わせ先	大学等名	明治大学
	担当部署名	商学部事務室
	担当者役職名	事務室員
	担当者氏名	小島基史
	電話番号	03-3296-4158
	メールアドレス	shogaku@mics.meiji.ac.jp